

生活

旬のさかな

鰯しほ 鰯しほ

よくしまった身はほのかに
甘みをもち、さっと塩ゆでに
し、わさびじょうゆや酢みそ
であれば、ちよつとしたご
ちそうになります。

くらしのこよみ

うつくしいくらしかた研究所

◎ 東京新聞

● がんとは何か

がんは、今や国民の死亡原因の三分の一を占める疾患。高齢化に伴い、今後はがんによる死者数も増える予想されています。そもそもがんとは、遺伝子変異が積み重なって起きる病気です。



Dr. 松井英男の

在宅医療のカルテ

そのため、細胞が活発に複製を繰り返している骨髄、腸管の粘膜、皮膚などは異常が生まれやすいと考えられます。しかし、たとえ異常が起きても、それを修復、あるいは異常なタンパク質を抑制するものがあればがん化は防げます。

高身長の人には、持っている細胞数も多いので、発がんリスクが高くなるという研究があります。長期間生きる、すなわち高齢になると遺伝子変異が蓄積する可能性が高くなるのは当然です。がんは、感染症などを克服し、長寿を手

人類の進化に伴う試練

入れた人類の宿命ともいえる疾患なのです。

一方で、人間は進化する動物です。いろいろな環境に適合できる



がん専門医による診察を受ける

よう遺伝子が変わったために、地球上で生存することができるようになりました。遺伝子が変わる可能性があることは、進化にとっ

ては重要です。そうした意味では、がんとは、人間が進化するのと引き換えに課せられた試練なのかもしれません。

がんの治療は「より長く生きてい」という人間の生存願望をかなえるものです。その治療によって生存する期間が長くなれば、一応の目標は達成できます。しかし、「生きる」ということは単に生命があることではありません。食事をする、歩く、会話をする、といった日常の生活を送れるようにすることも考える必要があります。

高齢化社会におけるがん治療は、より長く生きられる治療法を選択するだけでなく、生活の質(QOL)や患者の尊厳をも考慮したものでなくてはなりません。

(川崎高津診療所院長)

次回(16日)掲載